市内で行われたイベントや行事、まちの話題を写真と一緒に紹介します。
また、みよし市ホームページでは「Topics（まちの話題）」と「市政番組『みよしTODAY』動画配信」でイベントや行事の様子を紹介しています。URL http://www.city.aichi-miyoshi.lg.jp

## 苗木とともに大きくなあれ

### 緑と花フェスタ

緑と花フェスタが3月5日、緑と花のセンター「さんさんの郷」で行われました。緑化推進や地産地消などの一環として毎年行われるこの催し。この日は、緑化木のアザレアなどの配布やクジ引き、結婚･出産などの記念樹の引き換えの他、地元の採れたて野菜や花の販売、フリーマーケット、そして直接動物と触れ合えるミニ動物園など盛りだくさんの内容。クジ引きのコーナーでは長い行列ができるなど、多くの人でにぎわいました。

記念樹の引き換えに訪れた家族連れは「男の子が生まれたので記念にもらいにきました。さっそく植えて大切に育てたいと思います」と楽しい週末を過ごしていました。

## 混成競技の楽しさを伝えたい

### キッズアスレチックスフェスティバル

全てのスポーツの基本となる「走る」、「跳ぶ」、「投げる」を楽しみながら取り組んでもらおうとキッズアスレチックスフェスティバルが3月5日、東海学園大学陸上競技場で行われました。今年で5回目を数え、東海学園大学では2回目となるこの行事。昨年、中国で行われた広州アジア大会女子七種競技で銀メダルを獲得した市内在住の中田有紀（なかたゆき）さんや、女子走り幅跳びの北京オリンピック日本代表で、日本記録保持者の井村久美子（いむくみこ）さんから直接指導してもらえるとあって、県内外からおよそ200人の小学生が集まりました。参加した児童たちは、中田さんと井村さんから、ハードル競技におけるスタートの仕方などについて説明を受けながら、50m走、走り幅跳び、ヴォーテックス投げ、50mハードル、1,000m走の混成競技（キッズ・ペンタスロン）を体験しました。

## コロンビアの魅力を肌で体感

### ENJOY（エンジョイ）!世界紀行（ハワイ・コロンビア編）

世界の文化を楽しみながら学ぼうと「ENJOY!世界紀行～ハワイ・コロンビア編～」と題した講座が3月1日、学習交流センターで行われました。3日間で行われる講座の最終日となるこの日は、コロンビア出身の稲垣（いながき）アイダさんを講師に迎え、コロンビアのカリブやアンデス、アマゾンなど、それぞれの地域における気候や音楽を分かりやすく紹介。休憩時間には、講師手作りのニンジンとココナッツのケーキ（トルタ・デ・サナオリア）とコロンビアのコーヒーが振る舞われ、お互いに交流を深めました。講座の最後には、民族衣装に着替えるという楽しい演出もあり、参加者たちは五感でコロンビアの魅力を満喫しました。

## 親子で楽しくリトミック

### リトミック公開保育（ベル三好幼稚園）

ピアノの音に合わせて、音楽を体で表現することで、音感やリズム感、集中力などを育てる音楽教育法のリトミック。普段園児たちが受けているリトミック保育を一緒に体験してもらおうとリトミック公開保育が2月28日、ベル三好幼稚園で行われました。年中、年長園児合わせて147人がクラスごとに1年間の成果を発表。保護者は、ピアノの高い音と低い音を素早く聞き分けて、拍手の仕方を変えたりする遊びなどを見学後、親子でピアノの伴奏に合わせて一緒に楽しく踊るリトミックに挑戦。園児たちは、大好きなお父さんやお母さんと一緒に踊り、楽しいひとときを過ごしました。

## 被害を最小限に食い止める

### 鉄道事故対策訓練

救助活動における技術力の向上と市民に防火・防災意識を高めてもらおうと3月2日、鉄道事故対策訓練が名鉄「三好ケ丘」駅で実施されました。尾三消防本部みよし消防署の他、日進消防署、名古屋鉄道、東海学園大学からおよそ100人が参加。訓練は脱線転覆した鉄道車両で火災が発生した場合を想定。はしご車を使った「ななめブリッジ救助法」と呼ばれる訓練では、ホーム内に取り残された要救助者を担架に乗せ、ロープを使って地上に降ろす訓練を実施。隊員たちは隊長からの指示のもと、安全かつ迅速に救助活動を進めました。当日、利用客役として参加した大学生の一人は「自分たち一人一人に何ができるのかを考える良い機会になりました」と訓練を振り返りました。

## おじいちゃん、おばあちゃん大好き

### 祖父母交流会（打越保育園）

普段、交流する機会が少ない祖父母と園児たちの交流を深めようと祖父母交流会が3月2日、打越保育園で行われました。園児たちは、大好きなおじいちゃんとおばあちゃんと一緒におこしもの作りに挑戦。米粉を練ったものを魚などの木型に入れて成型し、色とりどりのおこしものを作りました。その後、園児たちによる発表会が行われ、年長園児が「げんこつ山のたぬきさん」を祖父母と一緒に歌うなど楽しく交流しました。参加した祖父の一人は「おこしものを作るときの表情を見て、大きく成長したことが実感できました」と笑顔で話していました。

## 優勝を目指し果敢にアタック

### 第35回ソフトバレーボール大会

バレーボール連盟主催のソフトバレーボール大会が3月6日、総合体育館で行われました。男性2人以下、女性が3人以上で試合に出場するトリムの部とレディースの部の合わせて28チームが参加。開会式では「お互いの交流を大切に、くれぐれもけがのないように頑張ってください」と鳥居鐐一（とりいりょういち）バレーボール連盟会長があいさつ。参加者たちは、それぞれの部に分かれて、優勝を目指しボールを追いかけていました。参加した男性の一人は「メンバーの一人が転勤のため、今日が最後の大会になるので、ベストを尽くして良い成績を収めたいです」と大会にかける思いを話していました。